

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ－１ 理念・基本方針

Ⅰ－１－（１） 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	Ⅰ－１－（１）－① 理念が明文化されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅰ－１－（１）－② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>教育保育理念として「保育に欠ける子どもの保育を行い、健全な心身の発達を促す」「子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に推進する」「子どもの健やかな成長のために、適切な環境を与え、心身の発達を助長する」の3つが明文化され、それに基づき、基本方針として「子どもの主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されるようにする」「子どもの自発的な活動としての遊びを中心に、心身の調和のとれた発達の基礎を養う」「子ども一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導を行う」3つが明文化されている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅰ－１－（２） 理念や基本方針が周知されている。		
	Ⅰ－１－（２）－① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅰ－１－（２）－② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>年度初めの職員会議において、職員に説明している。また職員室・各クラスに掲示し、理念及び基本方針の意識化を図っている。さらに理念及び基本方針がより理解され、実行されやすいよう、その縮小版を職員が各自に持ち、常に念頭に置くようにしている。保護者には理念・基本方針を明記した「園の案内」を全員に配布をする他、市の子育て支援室に置き、広報に努めている。また評議員会で主任児童委員や地域の代表者に説明をしている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
<p>理念や基本方針は本園だけで実現するだけでなく、地域を巻き込んだ取り組みが大切と考えるので、例えば、広報誌やおたより等を地域の自治会で回覧する等して広報に向けた取り組みに期待したい。</p>		

I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>中・長期計画については瑞浪市の次世代育成支援対策行動計画後期計画「みずなみ子育て応援プラン」を踏まえ、本園地域の特性や年齢別人口等を織り込んだ独自の中・長期計画が策定されている。また中・長期計画に基づき、各分野の事業計画が策定されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事業計画は学期ごと、年度末に職員会議で意見を求め、検討する機会を設けて立案しており、保護者には行事ごとのアンケートや年度末のCS調査で意見を汲み上げ、評議員会からの意見も反映させて立案している。</p> <p>計画は職員会議で話し合いの後に職員全員に配付して周知を図っている。計画進捗状況は職員会議や研究会等で確認して改善を図っている。</p> <p>保護者等には年度初めに「瑞浪幼稚園のご案内」等を配布し説明したり、たより等でも説明する等して周知に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A・Ⓑ・C
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	A・Ⓑ・C

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園長はその役割を職員に対して会議や研修会にて表明し、教育・保育に対する思いを説明している。保護者には保育所たよりへの掲載や入園式や各種行事等の機会を捉えての意見表明を行っている。また、研修会の参加等を通じて遵守法令の理解に努め、職員会議や職場内研修を通して職員への周知を図っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>法令遵守の観点から外部の研修等に参加しており、職員には報告・説明しているが、関係法令等は、その都度、ファイルに纏める事から始め、項目ごとに整理する等してリスト化に向けて取り組まれない。役割や責任についても表明しているが業務分掌等に文書化するよう検討されたい。</p>		
<p>I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>		
	<p>I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
	<p>I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園の体制変更1年目であり、組織のガバナンス、職員の質の向上等の課題を明確化しつつある。保育の質や職員の資質の向上のため必要な環境の確保・整備に努めており、週案研究会、カリキュラム研究会、支援児研究会等各種研究会を計画的に位置づけ指導している。職員の意見・子どもの育ち・ねらいの達成度等で現状を評価・分析、課題を把握し、職員のレベルに合った研修に計画的に派遣している。予算と前年度収支との対比等に基づき経営の効率化を職員に説明しつつ対応している。業務・事務についても職員が意見を述べやすい関係作りに努め、事務の効率化を常に念頭に置きながら園の運営に当たっている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

<p>Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。</p>		<p>第三者評価結果</p>
	<p>Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
	<p>Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
	<p>Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育関係の動向については、各種専門誌から情報収集している。また市担当課より情報収集し、地域の状況について把握している。小・中学校、他の幼稚園との連携・交流を図り、評議委員会からの情報も得て地域ニーズ等の情報の収集に努めている。外部から伝えられた情報に加え、毎年実施している家族アンケートや懇談による家族の意見・要望等からニーズ把握に取り組んでいる。経費の節約に心がける等付与された予算の効率的執行に努めている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
	Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>公立であり、人事管理は市に裁量権があるが、人材のプランを事前に市へ状況報告・要求することで、適切な人材確保に努めている。産休や長期病欠、早朝・延長保育、発達に問題のある子への対応等状況に見合った有資格の臨時職員の配置があり、欠員になることはない。市で定められた統一した人事考課に基づき客観的な基準に従い、評価が行われている。業務評価は個人が目標を立て、その達成度を年3回の自己評価と管理層面談を通して評価し、職員の資質の向上を図っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（２）－② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員の就業状況は休暇整理簿や出勤簿により正確に把握され、有給休暇の消化も特別休暇を設けたりする等意向に沿うように配慮をし、取りやすい環境作りを心がけている。また職員が相談しやすい職場環境の整備についても心がけている。</p> <p>福利厚生については、市において健康診断、予防接種の助成、健康相談、レクリエーション等の各種厚生福利事業及び健康増進事業を実施している。</p>		

改善できる点／改善方法：	
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
Ⅱ－２－（３）－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（３）－② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	Ａ・Ⓑ・Ｃ
Ⅱ－２－（３）－③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	Ａ・Ⓑ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>合同の研修会が経験年数・専門・職務担当に応じて年間計画に位置づけられ、個々の職員の要望等も考慮して適切に参加できるよう計画作成されている。園内研修も計画的に行われ、保育の質の向上を図っている。日頃の業務から出てきた課題、職員会議での話し合い等からPDC Aサイクルを意識し早期にその課題に向けて取り組みが行われている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>研修計画は、経験年数・専門・職務担当に応じて作成できているが、個別に職員の能力アセスメントを行い、個別研修計画を策定するまでに至っていない。今後、個別研修計画について検討されることを期待する。</p>	
Ⅱ－２－（４） 実習生の受入れが適切に行われている。	第三者評価結果
Ⅱ－２－（４）－① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>実習生については、定められたマニュアルに基づき、養成校と連携して実習内容を打ち合わせ・検討し、職員にとっても意義ある実習受け入れとなるよう、保育のあり方や指導の見直し等を行い、体制を整えている。年間を通じて多くの実習生を受け入れている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅱ－３ 安全管理

Ⅱ－３－（１） 利用者の安全を確保するための取組が行われている。	第三者評価結果
Ⅱ－３－（１）－① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

Ⅱ－３－（１）－② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－３－（１）－③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>緊急時の安全確保のために、怪我・事故・感染症・災害等の緊急時に対応する各種マニュアルを整備し、防災グッズ（全員分の防災頭巾、災害時の非常用具等）も目につく出口に整備し、マニュアルに従って安全確保のための体制を整えている。災害時の対応・避難場所は保護者にも文書を配布し説明し、周知しており、緊急メール網の整備もある。ヒヤリハット事例を収集し、毎週、週案研究会等で情報の共有化を図っており、要因や対応方法を検討し、予防・安全確保に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅱ－４ 地域との交流と連携

Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。	第三者評価結果
Ⅱ－４－（１）－① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（１）－② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A・Ⓑ・C
Ⅱ－４－（１）－③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A・Ⓑ・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域の特別養護老人ホームやグループホーム等への訪問等の交流や本の読み聞かせ等ボランティア交流は始まっているが、新体制になったばかりで、園側も地域の方々も関わり方、関係づくりの模索中の段階である。園として連携体制づくりを行い、ネットワークを形成していくための働きかけを行っている。また、園庭開放、本の貸し出しや子育て相談等、地域に関わる事業を展開している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>子育て中の親を想定した、地域向けの活動については、共働き、核家族、新しい住宅街等々、地域の組織化の途上にあり、園庭開放、子育て相談等の取り組みは今後に期待するものである。子育て支援センターや児童館等の関係機関の行う事業と競合することもあるので、お互いの利点を活かした共同事業や役割分担等を検討されたい。またボランティア受け入れを積極的に行っている。今後は、マニュアルを整備していく中で、その方針や意義等を整理されたい。</p>	

Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
	Ⅱ－４－（２）－① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（２）－② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>教育・保育の質の向上や園の役割や機能を達成するため、関係機関や民生委員など関係団体のリスト化を行い、職員間で情報の共有化を図ると共に、保護者にも支援の窓口を紹介している。要保護児童対策協議会に出席し、主任児童委員からの地域の状況を聞いたり、小学校との情報交換等、関係機関との連携がある。また保健センター、発達相談センター、市担当課、子ども相談センター、警察署等との連携も密にとり、定期的な事例検討も実施し、支援がスムーズに進むよう努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	A・Ⓑ・C
	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	A・Ⓑ・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域の主任児童民生委員や自治会長等で構成している評議員会や保護者会での意見交換や積極的な保護者との対話等から地域のニーズを把握するようにしている。まだ新幼稚園となって間がないこともあり、園と地域の交流が薄く、何が地域へ還元できるか、情報をどのように発信し広報していくかが始まったところである。また、ニーズに応えるべく、園庭開放、本の貸し出しや子育て相談等地域に関わる事業を展開している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>地域に園を知っていただく段階ではあるが、子育て支援の専門機関としての広報、情報発信の方法を検討し、未就園児を持つ親や核家族の若い親への子育て支援の拠点として今後の地域事業の展開に期待したい。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

<p>Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 理念や基本方針の中に子どもを尊重し、最善の利益の提供・基本姿勢を明示している。子どもが安心して生活できる環境の整備、それぞれの子どもの特性に応じた発達を援助する教育・保育に努め、職員が共通認識の下、業務に当たるべくケース検討時等には理念・基本方針の意識化を図っている。プライバシー・個人情報の保護については規程・マニュアルを整備し、子どもにとってのプライバシー保護、個人情報の保護・破棄等具体的な内容をあげ、研修を実施している。利用者本位のサービスであるか、人権擁護の視点から問題はないかと復命研修の中で自己の振り返りをしている。また園舎では図書室を相談室とし、プライバシー保護に配慮している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－１－（２） 利用者満足の上昇に努めている。</p>	
<p>Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 行事ごとに記述式も加えたアンケートを実施し、また年2回夏休み前と年明けの保護者面談を実施して満足度や意向を把握している。アンケートの結果については集計し、検討・分析を行い、たよりに載せて報告している。登降園時の言葉かけに心がけ、自由に意見を出せる関係づくりに努め、子どもの様子を報告すると共に意見・要望に耳を傾け、課題について職員会議で検討し、対応を行う等、利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>	
<p>Ⅲ－１－（３）－① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－１－（３）－② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。</p>	<p>A・Ⓑ・C</p>
<p>Ⅲ－１－（３）－③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。</p>	<p>A・Ⓑ・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 外部第三者相談員や苦情の窓口、担当者等の資料を作成し、保護者に配布し、周知している。相談があれば空き部屋にてプライバシー保護を配慮した相談を受けている。意見、苦情には迅速に対応する仕組みがある。内容によってはたよりに掲載し対応について報告している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 苦情に対する窓口を十分に伝えきれておらず、今後は口頭や年度当初には文書で伝えてはいるが、苦情解決の体制などを分かりやすくチラシやポスター等で整備し、掲示するよう検討されたい。</p>	

対応マニュアルを整備して、その対応に当たっているが、見直しがされていないことから、今後、新たな問題や課題に即応できるよう見直しを図られることを期待したい。

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
Ⅲ－２－（１）－①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（１）－②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>市作成の自己評価ガイドラインに当園の特長を織り込んで、評価項目を整備し、評価が行われている。年4回の評議員会においても意見を聴取し、質の向上に向けた取り組みをしている。またPDACサイクルを回転させ、その評価の結果を次年度ではなく、当該年度にその子どもたち支援に活かせるよう評価を計画につなげるよう努力している。また当園は1学年2クラスという特徴を生かした活発な異年齢交流、さらに、その年齢のそだちの課題に対応した協働、集団の中での支援の在り方を協議し、よりよい支援の向上にと努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
Ⅲ－２－（２）－①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（２）－②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>個々のサービスの標準的な実施方法については、各種マニュアルの作成に努めている。標準的な実施方法（教育保育課程）については理念・基本方針に基づき、週案・月案・カリキュラム研究会等で統一した教育・保育が実施されるよう検討し、確認を経ながら実践方法を確立している。計画の評価、改善を学期ごとに行い、研究会等での検討し、見直しをしている。</p>		

改善できる点／改善方法：	
Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（３）－③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>児童票から保育日誌まで各種の記録をきちんと記載されている。記録があることで、各職員の情報の共有化ができています。利用者に関する個人情報の管理は、鍵のかかる書庫において管理されている。また情報の園外持ち出しは、専用の記録簿に記載し管理されている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
Ⅲ－３－（１）－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ	
Ⅲ－３－（１）－② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ	
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>入園案内のパンフレットや市のホームページで情報の提供をしている。「入園案内」は子育て支援室にもあり、体験入園や見学にも応じ、より内容が理解できるよう支援している。一人ひとり説明し、申込みなどは同席して支援している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		

	Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 卒園や転園にあたっては子どもの育ちの継続や生活が途切れることがないように「指導要録」や「支援の引き継ぎ書」を作成し連携している。保護者には卒園・退園後もいつでも何かがあれば相談できる体制があることを説明し、サービスの継続性に配慮した対応を行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。	第三者評価結果	
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 利用者のアセスメントについては、市の共通様式（家庭状況、成育歴、心身状況等）を使用して決められた手順に従ってアセスメントが行われている。家庭調査票と保護者との6月、1月の個人懇談での聞き取りや意向・要望の把握、個別の能力診断等アセスメントを実施し、ニーズを明確にしている。また学期ごとにアセスメントを実施している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： サービス実施計画の策定については、アセスメントに基づいて子どもの発達状況、子ども一人ひとりのニーズを明確にし、保護者の意向を踏まえて、年齢ごとのクラスで指導計画を検討している。定期的に見直しを行い、園長等の助言、確認を得て評価・見直しを行っている。年度末には年間を通しての評価を行い、次年度の計画に反映、指導計画を立案している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本

Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１）保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 教育保育課程は保育理念(保育に欠ける子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図る。子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進する等)、教育保育方針・目標に基づき編成され、地域の実態(市の中心地にある、人口密集地帯、核家族家庭の増加等)を考慮しながら地域とのふれあいの場づくりを事業内容に織り込んでいる。保育課程は全職員で編成し、年間計画や学級経営案、月案等は毎月の研究会で見直しを行っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（２）乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 乳幼児保育を行っていないため非該当。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（３）１・２歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 乳幼児保育を行っていないため非該当。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（４）３歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 一日の生活を発達段階で統一した見通し表を各クラスに掲示してある。経験年数の少ない保育士の部屋に主任が入り、指導している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（５）小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 小学校と隣接しているため、日頃から小学校の様子を見ることが出来る。年長・年中児は小学校のプールを利用している。また夏休みを利用し、10人程の教師が半日、園で交流を図っている。防災の面でも情報を共有している。</p>	

改善できる点／改善方法：

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育室、テラスはゆったりと広く明るく、トイレ等近くにあり、生活しやすい場になっている。保育室の中の遊びのスペースが十分にあるので、例えば、ままごとコーナー等を畳にする等といった活動の場を広げる取り組みに期待したい。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(2) 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>基本的な生活習慣については個別支援計画に沿って家族と連携しながら定着していくよう支援している。マラソン、大縄跳び、ドッジボール等年齢別に運動遊びをしている。それぞれの運動遊びを継続することで達成感を得ることができ、子どもの体力作りにもなっていると考え。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(3) 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>3歳～5歳までの各年齢の1名ずつの3人がつなぎチームとなり、朝の体操や運動会の競技、お店屋さんごっこ等年長児がリーダーになって活動している。また年長児は全員の欠席調べが当番活動となり、その活動を行うことで自信をつけることにつながっていくと考える。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(4) 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>近隣のデイサービスを訪問し、地域のお年寄りと交流している。園庭にはイチョウ、どんぐり、もみじ、姫リング等四季折々の木が子どもたちに豊かな環境を与えている。近くに神社、公園がないので園周辺の自然と関わりを持っている。また絵本の読み聞かせボランティアは、5歳児と4歳児に行き、地域の方と触れあう機会としている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(5) 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	(A)・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 担任による読み聞かせを行ったり、音楽に合わせて歯みがき運動を行っている。子どもたちが主体的に表現活動ができる物的環境について担任を中心に子どもたちのニーズに応じた環境作りに今後とも継続して取り組まれない。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

IV-3 職員の資質向上

IV-3-(1) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	第三者評価結果
	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 月案・週案等で子どもたちの様子や保育実践のふり返りが行われ、記録物はかなり丁寧に書かれている。経験年数の少ない保育士は保育に取り組む余裕が少なくなりがちである、今後とも自己チェックにより自分の課題を明確にし、先輩保育士の助言を受ける等自らの資質向上に向けて取り組まれない。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象V 子どもの生活と発達

V-1 生活と発達の連続性

V-1-(1) 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	第三者評価結果
	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 子どもの情緒安定を大切にした保育を第一と考え、クラス担任と副担任が共通理解の下、支援を同じにしているように心がけている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-1-(2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 障がいのある子どもそうでない子ども一緒に活動している。個別支援計画を作成し、支援が必要な子には保育士がそばにいて、個別に支援にあたっている。行事の際には、保護者との話し合いの機会を持ち、子どもの障がい特性に合わせてできる範囲で参加の機会を作っている。他の子どもたちも日々の生活の中で互いに気遣うことが自然に身につくようになっている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-1-(3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A・(B)・C
<p>良い点／工夫されている点： 長時間の子どもはあまり多くないが、保護者が急に遅くなる時に対応することができる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 連絡ベルトについては(連絡の必要な子どもの腕に輪ゴムをつける)保育士の都合から必要になる行為と考える。他の代替の方策の工夫に向けた取り組みに期待する。(折り紙の日、トランプ、カルタ、あやとりの日等)充実できる活動を組み入れて長時間のカリキュラムを作成されるよう検討されたい。担任から保護者への伝達事項はノー</p>	

トに記載し、伝達後にチェックし、また担任には長時間の時間帯にあった連絡事項を記録し、翌日に伝達する仕組みについて再整理を検討されたい。

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2-(1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果 (A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 保健だよりを発行している。職員室が広く、ベッドも設置され、安心して休息できる場が整えられている。さらに些細なことでもクラスで起きたことについては園長、主任に報告し、在園時の子どもの体調の変化は、連絡ノートで保護者に伝えていくという仕組みについて今後とも職員周知に努められたい。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 5歳児は園内で野菜を育て、収穫した食材で調理して味わっている。また他のクラスの子と給食交流をしたり、職員室で食事をしたりして、食事スタイルの工夫を行っている。年に数回は異年齢児のグループで食事をを行い、交流がある。献立・食育だよりを発行している。園庭は季節感のある環境でテラスも広いので、今後お花見給食やおやつをテラスの下で食べる等環境設定やさらなる工夫に努められたい。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 調理員が週2~3回保育室を回り、子どもたちの喫食状況を把握している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 定期的に健康診断を行い、受診が必要な子どもには書面で伝えている。歯科健診では歯磨き指導をしたり、歯の大切さを知らせている。さらに幼児期からゲームをする子どもも多く、視力の低下が問題になっているので、今後は視力検査の実施も検討されたい。</p>	
改善できる点/改善方法：	

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果 (A)・B・C
---	--------------------

<p>良い点／工夫されている点： 除去食が必要な子どもには、医師の診断書をもとに保護者の申請を受けて、調理員と担任で対応している。今後さらに担任以外の職員にもしっかりと周知し、対応できるような仕組みづくりについても検討されたい。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。</p>	<p>A・(B)・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 衛生管理マニュアルに基づき、常に職員は衛生面に留意している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 調理場のマニュアルの作成と水周りのマニュアルの定期的な見直しを実施されたい。</p>	

評価対象VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
<p>VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。</p>	<p>A・(B)・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 給食献立、成分表、食育だよりを毎月配布している。年1回給食試食会を行い、保護者に子どもの食べている量・様子・味つけ等見てもらっている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 今後は家庭でも食育について関心を持ってもらえるよう給食のレシピを活用してもらったり、展示食を行ったり、食材の産地や栄養成分等、保護者に積極的に紹介するなど啓発に努められたい。</p>	
<p>VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 朝は園長、主任、担任が保護者とコミュニケーションがとれるように出迎えている。特に担任は降園時、保護者と直接話をするように心がけ、また連絡ノートを利用して情報交換を行っている。広い図書室には懇談ができるよう机(テーブル)や椅子が用意されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 行事等の保育参加や個別懇談会の際に共通認識をもてるよう努めている。就学前の年長児には個人懇談を行い、不安を取り除くよう配慮している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。</p>	<p>(A)・B・C</p>

<p>良い点／工夫されている点： 衣類の汚れ、つめ、清潔面、表情の明暗、母親の精神状態等日頃のチェックが大切であり、早期発見に努めている。またマニュアルが整備され、職員研修も行っている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 不審者の対応マニュアルが整備され、2ヶ月に1回、防犯訓練について実施している。また小学校、警察その他関係機関と連携を密にしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 園に年間行事計画で知らせたり、お便り等で1～2ヶ月前に保育参加の日時を知らせている。今のところ全員が参加となっているが、今後とも参加を促すよう努められたい。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 保護者役員会に園長、主任が参加し、園の運営や子どもの様子について報告している。保護者会活動で、園を使用したい時には協力し、また園の行事の際には保護者会に協力を求めている。例えば夏祭りや運動会等での手伝いやクリスマスのサンタクロースの役割や卒園児にはプレゼントを贈る等、様々な協力をいただいている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 地域の3つの幼稚園の交流がある。幼稚園から中学校までの一貫教育会では小学校、中学校、PTA会長、職員が1年の方針を会議で話し合い、取り組んでいる。小学校と連携の下、子どもが安心して就学できるよう支援している。</p>	

改善できる点／改善方法：